

Better Care

67
2015
Spring

春

「特集」 「食べる」は 生きる基本



- 健康長寿には、低栄養を避け、社会参加を
新開省二「東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長」
- 長寿と認知症はセット——認知症を先送りする食事
山口晴保「群馬大学大学院保健学研究科教授」
- 「食べる」ことが楽しみになる「支援
佐藤ゆう子「新天本病院・言語聴覚士」
- 10年目迎えた「紅の里 まるみ朝市」
山城紀子「フリーライター」
- 「たかが弁当、されど弁当」
NPO法人暮らしネット・えん

聞くことで生活の質を保てる

対談

中島照正

「エムケー電子株式会社常務・研究部長」

浜田きよ子

「高齢生活研究所所長」

百人
百色の
介護

藤沢市 [神奈川県]

福知山市 [京都府]

東広島市 [広島県]



介護旅行にお出かけ！

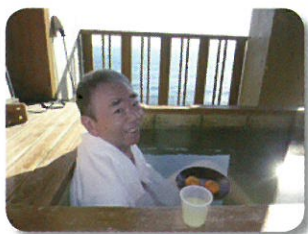


温泉×トラベルヘルパー ＝夢が叶いました！

あ・える倶楽部の高橋知佳です。北海道から沖縄まで温泉の出ない県はないほど、日本は世界でも有数の温泉大国です。日本全国には、3000カ所を超える温泉地があるとされています。あ・える倶楽部のお客様にも温泉旅行はとても人気があります。今回はトラベルヘルパーと温泉を楽しんでいるお客様をご紹介します。

温泉×トラベルヘルパー ＝一人でも湯治に行ける

温泉にゆっくりつかり湯治がしたいが家族と行くのは長期で難しいし一人では不安というお客様にトラベルヘルパーが一緒しました。



はじめは少し緊張されている様子でしたが、トラベルヘルパーのサポートで一度温泉に入ると安心されたのか、お帰りになるまで、一日3度ほど入浴されました。温泉効果で筋肉もほぐれ身体の運びが良くなり、夜もぐっすり眠れた、と温泉の効果を実感されました。

「トラベルヘルパーと一緒に安心して湯治に行ける」と笑顔でおっしゃって下さいました。温泉をきっかけにその後もトラベルヘルパーとご旅行を楽しまれています。

温泉×トラベルヘルパー ＝親孝行

息子さんがお母様への親孝行で温泉旅行を企画されました。普段はデイサービスでの入浴なので、「広いお風呂に入れてあげたい」とご相談下さいま

した。旅先は熱川温泉ですので、トラベルヘルパーセンター東伊豆に所属しているトラベルヘルパーが入浴介助をお手伝いしました。同性のトラベルヘルパーと一緒に入浴し、滞在中に3回大浴場での入浴を楽しめました。



右がトラベルヘルパー

あ・える倶楽部には全国各地にトラベルヘルパーがいますので、温泉地で入浴介助のみトラベルヘルパーを利用するという方法もあります。スポットで利用いただくと、費用負担や同行するご家族の負担が減ってご家族みなさんと温泉を楽しむこともできます。

温泉×トラベルヘルパー ＝リハビリ目標

常宿にしていたお宿にもう一度行きたいというご希望のお客様にトラベルヘルパーが一緒しました。お会いしてすぐに「また旅行に行けるのね」とニコニコ笑顔のお客様。馴染みのスタッフさんとの再会や、入浴で疼痛が取れたこと、そして何より以前と同じ様に常宿に泊まりに来られたということで、お客様の中で化学反応が起りました。服薬やリハビリに対して消極的でしたが、ご旅行後は「次は連泊するためにリハビリを頑張る！」と前向きな気持ちになられたとのことでした。



両端がトラベルヘルパー

あきらめていた温泉の夢をトラベルヘルパーで叶えませんか？



【介護旅行】

株式会社 SPI あ・える倶楽部 URL <http://www.aelclub.com>

〒150-0036 東京都渋谷区南平台6-11 ジョイヒルズ4F
電話 03-6415-6480 / FAX 03-6415-6488 / E-Mail tabi@aelclub.com

※トラベルヘルパー（外出支援専門員）®は株式会社SPIの登録商標です。